

とやまファン
倶楽部

No.32

2018



CONTENTS



リレーエッセイ 31 / 一柳 良雄	2P
第23回とやまファン倶楽部会員交流会	3P
とやま賞	4P
「夢の卵」育成事業	5P
会員交流広場	6P
富山県からのお知らせ	7P

「未来へ羽ばたけ、富山!!」

一柳良雄さん



プロフィール

一柳 良雄(いちりゅう よしお)
株式会社一柳アソシエイツ
代表取締役&CEO

1946年生まれ 大阪府で育つ。
1968年東京大学を卒業後、通商産業省(現経済産業省)入省。

1970年故宮沢喜一氏、故田中角栄通商産業大臣秘書を務めた後、ハーバード大学(ケネディスクール)に留学(行政学修士取得)。その後、村田敬次郎秘書官、近畿通商産業局長や総務審議官を経て、1998年通商産業省を退官。

2000年株式会社一柳アソシエイツを設立。大企業からベンチャー企業までの経営者の相談相手として経営コンサルティングを手掛け、上場会社などの顧問も多数務める等、多くの経営者の信頼を得ている。また、官(行政)と民(企業)との橋渡しをする政策調査コンサルティングにも取り組んでいる他、2008年に「一流塾」を創設し、塾長に就任。若手経営者等の人材育成にも注力している。

2008年10月からテレビ番組のキャスターも兼任。現在は2012年4月より始まった「一柳良雄が問う日本の未来」(BSテレ東)の番組キャスターを務め、毎回、様々な分野のゲストと共に、日本の未来について熱く語っている。

著書に「役員室にエンジンがいたら」(監訳)(かんき出版、2003年10月)、「一柳良雄のベンチャー実践塾」(編著)(日刊工業新聞社、2003年11月)、「元気と知恵の経営」(産経新聞出版、2007年11月)、「一柳良雄の志」(共著)(興陽館、2010年3月)

ちょうどこの会報が出る頃、私がキャスターを務めている「一柳良雄が問う『日本の未来』(BSテレ東)で富山県のことを放送しています。そのTVの取材で先日、4日ほど富山県に滞在しました。

富山県に来るといつも感じるのがあります。富山県の人、富山が好き。みんなが富山県に愛着を持っています。企業の人、県庁の人、教え子たち、誰と話しても、口をそろえて「富山が好きだ」、「富山はいいところだ」と言います。富山に対する郷土愛を肌で感じます。

私と富山県との関係は、官僚時代の仲間である石井隆一知事との出会いから始まりました。石井知事が、廃業率が開業率より高い富山県の現状を何とか改善したい、そして、地域経済の活性化のためにも、若者、女性、熟年の志ある起業家を育成する塾をやりたいので、ぜひ協力してほしいと、熱心に口説かれました。彼の情熱と誠実さに惚れて、設立以来14年間塾頭を務めているのが、「とやま起業未来塾」です。石井知事の想いに賛同して、行政も地元経済界もベンチャーを

積極的に応援しようという連携により、これまでの卒業生308名のうち、起業したのが221名と、起業率は実に70%を超えています。安倍政権が「未来投資戦略2018」でも掲げる起業率を5%から10%台に引き上げようという成長戦略と比べても、突出した先進事例、富山モデルとして注目を集めています。やはり、若い世代、志ある者の育成というのは、我々大人たちの「未来に対する責任」だと思えます。石井知事の熱い情熱にきちんと応えられるように、自分も力を尽くしたいと思えます。

ところで、富山県は、医薬品、化学製品、電子部品、それからアルミ建材など、日本海側屈指の工業集積を誇るものづくり県です。製造業を中心に、元気な企業がたくさんあります。東京からも大阪からも距離があり、市場規模も大きいわけではありませんが、皆さん「それがどうした」という気持ちがあるんですね。富山県や北陸だけでビジネスをしようなんて思っていないんです。全国へ、海外へという志向が強いのが分かってきました。

郷土愛が強いだけに、富山から出ない、あるいは一旦出ても戻ってくる人が多く、ともすると、内向きになりがちなところですが、富山県にある大企業なんかもそうですが、「とやま起業未来塾」の卒業生にしても、世界を見ています。郷土愛を持ちながら、グローバル志向でビジネスを大きくしていこうとしています。

そして、もう一つの力ギが、未来の担い手を養成するという政策です。富山県にU・I・Jターンする人の7割が20代から30代の若者だというのは大きな特徴でしょう。ここは全国どこの自治体も頑張っているところでしょうが、なぜ富山県にはそんな若者が移住してくるのか。これは、強い企業があつて、しっかりとした働き口があり、子育てや教育などの生活環境を整えて、しっかりと受け皿を作り、10年、20年、30年後に備えた種まきをしているからではないでしょうか。

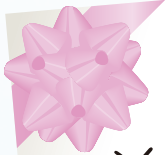
もう少し具体的に見ると、15歳以上の就業率や共働き比率、正規従業員比率が高いとか、女性の就業率を見ても、就業

率が高いだけでなく、いわゆるM字カーブが小さいというところとか、保育所の待機児童ゼロという実態として現れています。持ち家率も全国トップクラスで、それも広い家を持っています。企業が元気で、人が集まり、人を育て、地域がますます元気になっていくという見事な循環が出来ています。

縁あって富山県との関わりはとても深いモノになっています。富山は、人よし、土地よし、肴よし。最初はこんなつもりじゃなかったんですが、富山にどっぷりとつかってしまいました。

先述の「とやま起業未来塾」に関わっているある県外の講師は、富山県の魅力に取りつかれ、自ら古民家を購入し、ビジネスの拠点としてしまったほどです。そういう私も、いつの頃からか「富山が好きだ」なんて言っています。この富山の魅力を多くの人に知ってもらいたいなあと、昨年受嘱した「とやま活性化大使」としての役割を果たしていきたいと思っています。

富山県や北陸だけでビジネスをしようなんて思っていないんです。全国へ、海外へという志向が強いのが分かってきました。



第23回 とやまファン倶楽部 会員交流会

TOYAMA FAN CLUB

開会挨拶



石井知事 (財団理事長)

開会挨拶



桑山代表世話人

会員と富山県及び会員相互の情報交流の場である「とやまファン倶楽部会員交流会」が7月18日(水)、都市センターホテル(東京)で約150名の会員の皆様の参加のもと盛大に開催されました。今年世話人の任期満了に伴い全員が再任され、桑山世話人、川田世話人及び福田世話人に引き続き代表世話人をお願いすることになりました。

交流会では、新入会員22名をご紹介し、今秋デビューの富山米新品種「富富富」や日本橋とやま館のPRのほか、富富富や日本橋とやま館の食事券などが当たるお楽しみ抽選会が行われました。

また、「とやま牛」や「富富富」の握り寿司をはじめ富山の新鮮な食材を使った料理や地酒を用意し、会員の皆様に富山の味を堪能していただきながら、終始和やかに皆さんの話の輪が広がりました。

お礼の言葉



高野県議会議長

挨拶



綿貫元衆議院議長

乾杯



福田代表世話人



新入会員の皆様紹介

県からのお知らせ



富山米新品種「富富富」PR
(とやま食の王国大使 ふふふ)

お楽しみ抽選会



お楽しみ抽選会 景品プレゼント
(石井理事長より贈呈)





「とやま賞」は、富山県の置県百年を記念し、富山県ならびに日本の将来を担う有為な人材の育成に資する目的をもって昭和59年に創設され、今回で35回目を迎えました。

受賞対象者は、富山県出身者、または富山県内在住者とし、学術研究、科学技術、文化・芸術、スポーツの分野において、顕著な業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される人に対して、賞状、奨励金を贈呈して、その活動を奨励しております。

今年度の贈呈式は、6月5日（火）に富山国際会議場メインホールで行われ、学術研究部門で4名、文化・芸術部門で1名の計5名の方々が受賞されました。

第35回受賞者

学術研究部門 医薬分野(疾患病態治療学)

慶應義塾大学医学部循環器内科 講師

片岡 雅晴 氏

難病循環器疾患における病態解明と治療法開発による医療貢献



学術研究部門 理工分野(化学)

富山県立大学工学部教養教育 准教授

山村 正樹 氏

元素の特性を活用した高次分子複合体の設計・開発



学術研究部門 人文社会分野(心理学)

富山大学人文学部 准教授

坪見 博之 氏

視覚的注意とワーキングメモリの容量制約に関する実験心理学的研究



学術研究部門 人文社会分野(刑事法学)

九州大学大学院法学研究院 准教授

野澤 充 氏

刑事法学における法制史的観点からの研究・分析方法の再構成——中止犯制度を素材に



文化・芸術部門 (声楽)

東京二期会 オペラ歌手

名古屋音楽大学 専任講師

森 雅史 氏

声楽(バス)



選考委員長講評



石井理事長より授与



受賞記念講演

当倶楽部の会員の皆様などにご協力をいただきながら行った事業を紹介いたします。

「夢の卵」 育成事業



この事業では、「将来こんな職業に就きたい」という「夢の卵（将来の夢）」を作文にしてもらい、優秀作品を表彰して、その道の第一人者のもとへ派遣しています。

今年度で15回を数え、小学生の部と中学生の部をあわせて2,129作品の応募があり、その中から選ばれた4名の子どもたちに夏休み期間中、夢に一歩近づいてもらうために、短期入門してもらいました。



小学生の部 (応募数1,325作品)

入門
内容

将来の日本の宇宙開発に
貢献できる技術者になりたい

清水 詩音さん (富山市立山室中部小学校6年)
種子島から人類を乗せたロケットを打ち上げ、子ども達に希望を与えたいという気持ちを持って、富山県立大学工学部電子・情報工学科に入門して、モデルロケットの製作から打ち上げまでを体験しました。



電子通信システム工学講座の
石坂圭吾准教授と



4回のロケット打ち上げ

入門
内容

人の役に立つロボットを
作る人になりたい

高瀬 心海さん (富山市立速星小学校5年)
人の暮らしを良くする介護ロボットなどを作りたいという気持ちを持って、富山県立大学工学部知能ロボット工学科に入門して、ライトレースロボットの製作、プログラミングなどを体験しました。



機能ロボティクス講座
の大島徹教授と



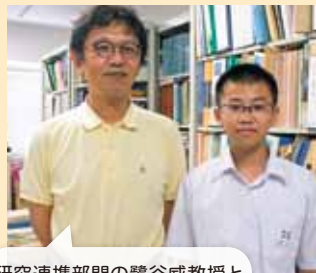
ロボットのプログラミング

中学生の部 (応募数804作品)

入門
内容

大地震を100%の確率で予測できる
研究者になりたい

篠田 真吾さん (高岡市立中田中学校2年)
大地震を予測して、その被害を減らしたいという気持ちを持って、名古屋大学減災連携研究センターに入門して、GPSによるプレート変動観測など地震予知につながる研究を学びました。



研究連携部門の鷲谷威教授と



減災ライブラリーを見学

入門
内容

今後の日本の海を守る
漁師になりたい

村上 統哉さん (富山市立城山中学校2年)
漁獲量が減り続ける日本の海には養殖の研究が欠かせないという気持ちを持って、福井県立大学海洋生物資源学部に入門して、地域の産学官が一体となって取り組む「鯖復活プロジェクト」などを学びました。



細井公富准教授と
漁船の上で



「小浜よっばらいサバ」
養殖場の見学

会員交流広場

～皆様からのメッセージの一部を紹介～

今年度の会員交流会(7月18日(水)開催)のご案内にあわせて皆様からいただきましたメッセージを、当財団のホームページ(<http://www.t-hito.or.jp>)に掲載させていただいております。

海風がはこぶ磯のかおり、おいしい海の幸、遠くは立山などの山並みに抱かれた美しい都が今も目に浮かびます。

雪が降りしきる冬の間も人々は耐えて、若者たちは屋内スポーツを楽しみ、机に向かって研究に情熱を注いでいるのでしょう。未来を開いてくれることを願っています。

草笛光子さん主演の映画「ばあちゃんロード」は富山県氷見市がロケ地であり、身近に感じました。最近たびたび富山県がテレビに放映されるようになったような気がしております。北陸新幹線の効果でしょう。富山東京間が近くなりました。

観光面にもっと注力すべきと思います。他県からの観光誘致、食文化、土産、景観は新幹線効果とともに大いに宣伝すべし。JTB等観光業者と連携して宣伝すれば良い。先日、NHKで「鶴瓶の家族に乾杯」で富山県高岡市の大仏他いろいろ街並みが紹介されて面白かったです。

春夏秋冬いずれの季節も観光も食べ物も祭りも素晴らしい。勤務から離れた後も毎年行っています。たくさんの方にPRして、ひとりでも多くの人に富山の良さを知って頂きたいと思います。

久方ぶりの幕内力士となった朝乃山(高砂部屋)関を是非応援してください。出身力士を場所で応援する観客席をテレビ中継で見ることが増えました。最近、席がとれない人気ですが、もし国技館のチケットが手に入った時には、富山県の安上がりでのPR法として、「朝乃山」と書いた大きな紙を持参して取組の時に高くかかげてください。

東京で活躍している方と話をすると「富山出身です」と話す方が案外います。皆さん積極的に自分からは言わないですが、こちらが富山出身者だと知ると「私もです」と話されます。こういう素晴らしい人々で富山応援団ができると、もっと盛り上がりますね。皆さんシャイで自ら話しません、ファンクラブがそうした絆作りの一翼を担っているのは、素晴らしいことだと思います。

富山を懐かしく思い出し、また行きたいという衝動に駆られる一番の要因は、私の場合「食」である。

私が懐かしむ富山の味は「ホタルイカ」「白エビ」「ます寿司」ではない。富山に行かなければ食べられない「ぼてやん多奈加のぶた玉」「糸庄のもつ煮込みうどん」「吉宗のカレーうどん」といったB級グルメなのだ。

熊本地震から2年2か月経ちました。まだまだですが、インテリアデザインの仕事が被災現場へ少しでも役に立てばいいと思っています。

時折の帰省時に、高岡駅等で観光客の方の「JRによる高岡駅から金沢方面への移動が不便だ」との声を耳にしますが、そのあたりの解消も、観光客誘致のネック打開に役立つのではないのでしょうか(悪評が伝播する前に・・・)

家屋が大きいとか、教育県だとかだけじゃなくていい。ぶり、ホタルイカ、白エビだけじゃなくていい。立山、五箇山だけじゃなくていい。

その先が一向に見えてこない。もっと他県にない、他県より優れているものがあるはず。もっと新しい富山をアピールする必要がある。新幹線と言っても金沢ばかり!

もっと「滞在したいとやま」「住みたいとやま」「地震など災害の少ないとやま」など

富山での生活は2年弱でしたが、56豪雪も曇気楼も毎年の立山登山も体験しました。その後ずっと、ますの寿司の竹を利用した自作の箸を使用しつづけています。使いやすいし、富山を思い出します。

富山県からのお知らせ ①

2019年夏、最前線の国際的な舞台芸術の祭典が富山に!

第9回 シアター・オリンピックス開催

芸術監督 鈴木忠志氏

主催 (公財)舞台芸術財団演劇人会議
シアター・オリンピックス2019実行委員会

日程 2019年8月23日(金)~9月23日(月・祝)

会場 利賀:富山県利賀芸術公園

黒部:宇奈月国際会館「セレネ」

前沢ガーデン円劇場(野外ステージ)

ホームページ <https://www.theatre-oly.org>

世界の人々が劇場で出会う。

OLYMPICS

THEATRE OLYMPICS
CROSSING MILLENNIA

第9回 シアター・オリンピックス
2019年8月23日(金) - 9月23日(月)

主催/芸術監督: Theat' Festival 芸術監督: 鈴木忠志 Artistic Director: Shūji Suzuki



富山県利賀芸術公園



宇奈月国際会館セレネ



前沢ガーデン円劇場
(野外ステージ)

シアター・オリンピックス
広報サポーター募集



チラシ・パンフレットを置いていただけるお店、知人等にお配りいただける方、SNS等で情報発信していただける方を募集しています。詳しくは公式サイトをご覧ください。

公式サイト: <https://www.theatre-oly.org>



公式サイト

お問い合わせ ● 実行委員会事務局 (富山県生活環境文化部 文化振興課) TEL.076-444-8650

富山県からのお知らせ ②

富山きときと空港サポーターズクラブのご案内

富山きときと空港及び就航路線を積極的にご利用いただける県内外の法人・個人の方、富山きときと空港サポーターズクラブにご入会ください! 入会金・年会費は無料です。

個人会員

入会特典 もれなく富山きときと空港内のテナントで使える「お買い物・お食事券」500円分をプレゼント

搭乗特典 ご搭乗回数に応じて、ANA旅行券又は「お買い物・お食事券」をプレゼント

期間中 4回搭乗:2,000円分
10回搭乗:5,000円分(各先着200名)

※先着順のため、すでに定員に達している場合はご了承ください。

その他 会員向けキャンペーンや会員通信の発行等

法人会員

入会特典 3,000円相当の特典をプレゼント

搭乗特典 富山きときと空港発着路線に10回ご搭乗ごとに、3,000円相当の特典をプレゼント

その他 有料待合室・会議室の無料利用や、会員向けキャンペーンなど

TOYAMA KITOKITO AIRPORT

TOYAMA AIRPORT 富山空港

※上記の特典内容は、平成30年度のもので、お断りなく変更する場合がございますので、ご了承ください。最新の情報は富山きときと空港ホームページ(<https://www.toyama-airport.jp/>)にてご確認ください。

富山ー羽田便 冬ダイヤ限定

レンタカーキャンペーン

コンパクトクラス
レンタカー料金が
(最初の24時間まで)

東京(羽田)発第1便(313便)または富山発第4便(322便)のご利用で

往復利用の場合

1,000円

1名様で利用の場合
2,000円

片道利用の場合

1,500円

1名様で利用の場合
3,000円

実施期間

2018年11月1日(木)~
2019年2月28日(木)

TOYAMA FAN CLUB



問合先

■事務局

公益財団法人 富山県ひとづくり財団

〒930-0018 富山県富山市千歳町1-5-1 富山県教育記念館2階

TEL076-444-2000 / FAX076-444-2001

E-mail:toyama@t-hito.or.jp <http://www.t-hito.or.jp>

■連絡所

富山県総合政策局企画調整室

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7

TEL076-444-4493 / FAX076-444-3473

富山県首都圏本部

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館13階

TEL03-5212-9030 / FAX03-5212-9029

富山県大阪事務所

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-9-15 近畿富山会館3階

TEL06-6445-2811 / FAX06-6445-2611

富山県名古屋事務所(平成30年12月25日から以下の住所に移転)

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-16-36 久屋中日ビル3階

TEL052-261-4237 / FAX052-263-7308